

予算

一般会計予算 193億6000万円

(前年度 185億4000万円)

健やかで安心できるまち

活力に満ちたまち

快適に暮らせるまち

人を育むまち

将来を見すえた市政運営

平成25年度鶴ヶ島市一般会計予算及び特別会計予算5議案は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。
委員会での審査結果は、いずれも「可決すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、可決されました。

新規就農総合支援事業補助金

新規就農者への支援内容は、

Q 産業振興課長 新規就農者が就農した初期段階は経営が不安定な状況なので、本人の申請に基づき、条件が備わった就農者に対し150万円を給付する。

学校給食センター更新施設整備事業債

Q 学校給食センターの更新施設建設費用の財源をどう確保するのか。

A 財政課長 国庫補助金及び市債で財源を確保する。

太陽光発電余剰電気供給料金

Q 公共施設における太陽光発電の設置場所は。

A 富士見公民館長 中央図書館、西公民館、若葉駅西口広場、鶴ヶ島市運動公園に太陽光発電の設備が設けられている。ただし、余剰電気を売却しているのは、西公民館だけである。

市内公共交通事業

Q 共栄一本松線が開通することでのバス・つるワゴンの運行の見直しを行うのか。

A 総務人権推進課長 25年度に共栄一本松線が全線開通することに伴い、一部見直しを行う予定である。その際には、アンケート調査や実態調査を実施し、人の流れがどう変わるか等を検討する。

地域支え合い推進事業

Q 事業の内容は。

A 地域自治・地域支え合い推進担当首席主幹 地域支え合いの仕組みづくりを進める地域支え合い協議会の運営経費に充てる補助金を交付することによって、地域の課題を地域で自立的に解決していく仕組みをつくるのが目的である。協議会は、おおむね小学校区というエリアで考えているが、状況によっては小学校区で済まない場合、地区ごとに分け、地

域性に合わせた協議会を設立することも考えている。

公園管理事業

Q 公園の遊具の安全対策に要する経費は計上しているのか。

A 都市計画課長 遊具に限らず、公園施設全体の老朽化が進んでいる公園もある。このため公園施設安全対策費として、予算計上している。



水土里のふるさと推進事業

Q 事業の効果は。

A 産業振興課長 ふるさと景観として中心的な存在である飯盛川を整備することで、飯盛川を起点にその周辺にも多くの人が訪れる効果を上げていきたい。農村風景が残っている高倉地区の地域資源を生かすことで、人を呼び込めるように観光という点にも視点を置き、幅広く事業展開をしている。

商工団体運営支援事業

Q 中小企業や商店の活性化への取り組みは。

A 産業振興課首席主幹 商工会等と連携しながら、中小企業や商店の活性化を図る。具体的には、B級グルメや特産品の開発、ゆるキャラ等を利用し、また24度からの地域経済応援事業でのクーポン券の活用するなど、商工振興に取り組む。

農産物加工品づくり応援事業

Q 6次産業化の今後の展開は。

A 産業振興課長 事業の主体が農家であることを前提に市が人材を発掘し、いかに支援していくかを観点に取り組んでいる。農産物の加工品を手がけたい農家には講演会やセミナーへの参加、加工品作りの実習を行う。今後は、6次産業化サポートセンターへの紹介や、試作品をイベントで販売するなどの支援を行っていく。

消費生活啓発・相談事業

Q 相談件数や内容について。

A 産業振興課首席主幹 消費生活センターには年間400件を超える相談がある。また月に1回多重債務や生活する上で困っている人を対象に消費生活の専門相談として弁護士相談を実施してい